

## 平成23年度 区政懇談会での発言・回答

### ②東中野山小学校区コミュニティ協議会

- 日 時 平成23年5月14日（土）  
18:00～19:50
- 会 場 東石山コミュニティハウス



発言：日赤の社費募集は毎年多くの資料が送られてくるので、自治会・町内会の配布方法などを把握して送付してほしい。

回答：今後、来年度の実施方法を検討する。

発言：この地域は降雨時に浸水するところが多いため、本所排水路の排水ポンプの増設を検討してほしい。

回答：浸水対策については、田んぼの貯水能力を活用し、本所排水路では住宅地の水を優先的に排水できないかということと、背割排水路の活用・整備を検討している。3月に亀田郷土地改良区と管理関係が合意した。今後少しずつ整備していく。

発言：背割排水路は、全体的な調査を行い、現状を把握し、改善する箇所の優先順位を考えるべきである。

回答：背割排水路の整備については6月初めに説明会を行う予定であり、工事は開渠とし雨量が少ない時も水が流れる構造にする考えだ。

発言：背割排水路は、流量が多くなると開渠部の草やゴミの流れを防ぐ柵を取りはずしてしまう人がいる。暗渠の排水効率の調査をお願いしたい。

回答：具体的な箇所を教えていただき現地を確認する。

発言：市の除雪基準はどうなっているのか。また、除雪車が通っても雪が残っているのもう少しきれいにできないのか。

回答：市では5メートルの幅員の市道を除雪する。業者も山間地に除雪の訓練に行くなど努力をしている。

発言：市の除雪対象外の道路で、小学生の通学時など車と子供がぶつかりそうになるなど危険があり、自治会が業者に依頼してもすぐに来ないので市で1回でも除雪をお願いしたい。

回答：通学路で危険な箇所は、検討させていただきたい。

発言：除雪を行っていない小路でゴミ収集車が動けなくなっていた。収集業務にとっても除雪が必要だと思う。また、小路のゴミ収集は小型車に変更するなどしてはどうか。

回答：ゴミ置き場を移動する方式を採用する自治会が増えて、小路のごみ置き場も増えている。高齢化に伴い移動方式の増加も考えられることから、収集車の小型化も含めて環境部とも情報交換を行っていく。

発言：東日本震災では、携帯電話が繋がらない事態になった。災害時の区役所との連絡体制を考えてほしい。

回答：災害時の情報伝達方法は、避難所に指定された小中学校に設置してある地域防災無線がある。この無線は、災害発生時の必要な情報伝達を確保するため、これ以上増やすのは難しい。市では、携帯電話で登録をすると災害時緊急情報を「にいがた防災メール」で配信しているので活用をお願いしたい。

発言：津波対策で、新潟市地域防災計画の想定の中に日本海中部沖地震が明記されているが、それを前提にした対策がとられていない。計画の見直しにあたっては、東区の海拔や栗ノ木川など狭い川を遡上する津波が15メートルにも及び、6メートルの堤防では対応できないことを考慮した津波対策を要望する。

回答：どの規模の津波を想定するかは、今後専門家を交えた議論になると思う。この地域では阿賀野川堤防の耐力が問題であり、液状化に対応した工事を行っている。津波避難ビルに避難するなど、今後の対策に協力をお願いしたい。

発言：市庭球場と岡山跨線橋間の道路は4車線化工事を行っているが、子供や高齢者は広い道路の横断に時間がかかるし、保育園前の交通量の増加も心配されるので、信号機を増設してほしい。

回答：信号機の設置は警察の判断であり、県警に要望する。

発言：赤道を通るバス路線が無いという課題について、検討を進めているのか。

回答：この路線については、新潟交通にも要望しているが、採算がとれないので開設しないと聞いている。区としては、新しく区バス循環路線を作り、引き続き本数増を検討する。

発言：東石山中学校から市庭球場までの本所排水路沿いの遊歩道に設置したソーラー電灯が盗まれてしまったので、区で街灯を付けてほしい。

回答：現地の状況を確認して検討を行う。